

県民の生涯学習活動への支援の在り方について

—マナビィセンターから県民の新たな学びの価値観の創出をめざして—

生涯学習支援課 高曽根浩三 笹 真也

要 旨

マナビィセンター活用による新たな価値観の創出と県民の新たな行動を生み出すために、主催講座の受講者を中心に、その成果や課題、改善の方向性について調査、分析を行う。特に主催講座の受講者の学びへの期待と、その後の学びの活用に関する課題や成果を分析し、マナビィセンターでのよりよい生涯学習の支援に向けた研究を行った。

キーワード：主催講座、アンケート結果考察、県民の学習ニーズ

I はじめに

人生100年時代といわれ、社会の変化が加速する中、あらゆる人に生涯にわたる多様な学習活動の機会が求められている。本センターのマナビィセンターでは、これまでも多様な講座を企画し、実施してきた。この点については研究紀要第100集（令和3年3月）において、「市民講師」による多様な講座を企画、提供することにより一定の成果が得られていることが確認できた。しかし、県民の生涯学習活動の充実や、「市民講師」の効果的な活用機会の拡充という点に課題がある。

本研究では以上の点を踏まえ、要旨にあるとおり、マナビィセンター活用による新たな価値観の創出と県民の新たな行動を生み出すために、アンケートに基づき受講者の学びへの期待など、マナビィセンターでのよりよい生涯学習の支援に向けた研究を行うこととした。

II 研究仮説

生涯学習支援課が執り行っている講座については現在、マナビィセンター主催講座だけでなく、非常に幅広く、多岐にわたっている。令和4年度には主催講座が17講座（表1～3）、ファミリー体験学習推進プロジェクトが7講座、とくしま家庭教育支援推進事業「共育たのしみ隊パワーアップ講座」が8講座、大阪・関西万博応援事業「おもてなし外国語会話講座」が3講座という状態である。どの講座についても目的や必要性がうたわれており、それぞれ特徴的な取組となっている。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により対面での実施が困難になった状況もあり、講座自体も県民のニーズに合ったものへと変容していくことが求められている。受講者に対してのアンケートを実施していくことで、改善点が見えてくるであろう。

III 研究の実際

1 令和4年度実施講座一覧及びアンケート結果について

（1）令和4年度実施講座一覧

表 1 【学んで伝える体験ひろば】

講座名	日 時	講師より（案内）
楽しく学ぼう パソコン教室	毎月第2火曜 13:00～15:00	初心者対象の講座です。ワード・エクセル・プログラミング等でパソコンを楽しみましょう。
水彩植物画 (ボタニカルアート)	毎月第1・3水曜 10:00～12:00	四季折々の草花を透明水彩で描きます。サイズはハガキからA4サイズ。ボタニカルアート作家の先生方の模写を中心に描きます。
絵手紙ひろば	毎月第3水曜 13:30～15:30	初めての方は基礎から教えます。続けている方は、その人の個性を伸ばしていきます。一枚の絵でも失敗はありません。修正して完成させましょう。
オカリナ教室	毎週木曜 13:30～15:00	沢山の方々にオカリナを通して心身ともに健康で豊かな人生を過ごしてもらうことが目標です。
複音ハーモニカ 基礎講座	毎月第2・4水曜 13:00～14:30	ハーモニカ（複音）の正しい吹き方（奏法）を学び、楽しく演奏できることを目標にします。
やさしい三味線 入門講座	毎月第3金曜 10:00～11:00	ゼロから始める三味線講座は、初めて三味線を学ぶのについてつけの、やさしく分かりやすい講座です。
短歌講座	毎月第1火曜 13:30～15:00	初心者は基礎から、経験者は一歩先へ。詠う喜びを伝え、文学（詩、俳句他含む）の基礎を学びます。
茶道講座 (裏千家)	毎月第4土曜 13:30～16:30	初心者、経験者それぞれの方の状況に応じて、お茶・お菓子の召し上がり方、点前や楽しみ方など、茶道の基本と日本の伝統的な立居振舞をお教えします。
パッチワーク 教室	毎月第3金曜 13:30～15:30	ポーチ、バッグ、タペストリーなどを製作します。
ニット教室	毎月第3土曜 13:30～15:30	棒針、かぎ針で小物、ベストなどを製作します。
プリザーブドフ ラワーでアレン ジを楽しもう	奇数月第4水曜 13:30～15:30	プリザーブドフラワーを使って、フラワーアレンジを楽しんでいただきます。
手話サークル あせび	毎月第2・4金曜 第4火曜 13:15～15:15	手話の勉強をします。
韓国語教室	毎週土曜 10:00～11:30	会話例を使って、1回に1つの文法を学習します。言葉を勉強しながら、韓国の文化についても学びます。
続・カラー魚拓に 挑戦してみよう！	毎月第3土曜 13:00～16:00	紙に色づけをして魚を写し取る技法（間接法）を習得します。講習を通じて受講者同士の交流を深め、技術の習得・向上をめざします。

表2 【親子で楽しむ体験ひろば】

講座名	日 時	講師より（案内）
ベビー講座	毎月第2水曜 10:30～11:30 1歳までの赤ちゃん と保護者	親子のふれあい講座です。ベビーマッサージは身体の発達の促進や、心の安定にも繋がります。オイルを使った簡単なマッサージをお伝えしていきます。マッサージ体験後は、産後の子育ての不安など一緒にお話してお悩みを解決しましょう。
おはなしと折り紙	毎月第2・4土曜 13:30～15:00	おはなし（絵本の読み聞かせ）、折り紙、バルーンアートなどを親子で楽しみましょう！

表3 【子ども体験ひろば】

講座名	日 時	講師より（案内）
あせび子ども邦楽教室	毎月第1・3土曜 13:30～15:00	箏を通して和楽器の美しい音色に触れ、心を豊かにすること、また、日本の伝統音楽に興味や関心を持ち、これらに対する理解を深め、愛好する心を育成することを目標としています。

非常に多くの講座が開催されており（図1～5）、各講座とも習得した技術を地域に広めていくことで交流や子育て支援ができる場づくりのできる人材育成を目的としている。参加者の中には、複数年にわたる受講者もあり、あせび子ども邦楽教室においては、受講生が指導者となって指導をしているといった状況もうかがえる。一つの出会いが広がり、繋がっていくよい例である。子ども邦楽教室は令和4年度に国立劇場大劇場の演奏会にも参加することとなった。20人が出演し、「子だぬきたんこの物語」という曲を演奏し、客席からは大きな拍手が送られたと当時の徳島新聞（2023年1月30日）にも大きく取り上げられている。センターの取組の一つが子供たちにすばらしい経験を積ませるきっかけになった。

（2）受講者によるアンケート結果

ここでは、受講者の満足度や希望についてアンケート結果（表4～6、令和5年2～3月各講座で実施）を基に考察し、次年度の講座内容に何を反映していくべきかを考える。

表4 【講座の内容について】

講 座 名	満足	やや満足	やや不満	不満
あせび子ども邦楽教室	14	3	0	0
ニット教室	9	1	0	0
パッチワーク教室	9	3	0	0
ベビー講座	8	0	0	0
茶道教室	7	1	0	0
続・カラー魚拓に挑戦してみよう	2	0	0	0
やさしい三味線入門講座	5	0	0	0
オカリナ教室	8	3	0	0
絵手紙講座	2	1	0	0
水彩植物画講座（ボタニカルアート）	7	0	0	0
おはなしと折り紙	不定	不定	不定	不定

韓国語講座	5	0	0	0
手話サークルあせび	13	0	0	0
楽しく学ぼうパソコン教室	9	4	1	0
複音ハーモニカ基礎講座	5	0	0	0
短歌講座	7	0	0	0
合 計	110	16	1	0
割 合	86.6%	12.6%	0.8%	0%

満足又はやや満足を合わせると99.2%になる。ほとんどが「やさしく教えてくれ、楽しくできた」といった理由であった。また、一人一人に合わせてくれるという意見も多かったが、技術の習得が必要な講座は進度についていくことができにくい場合もあったようである。次の講座の進行や運営も同様の理由で満足度が変わっている。

おはなしと折り紙は、申込みなしで当日参加できる講座として実施した。そのため、決まったメンバーで定期的にということではなかったため不定（定まらず）という扱いとした。



図 1 あせび子ども邦楽教室



図 2 韓国語教室



図 3 手話サークルあせび



図 4 オカリナ教室



図 5 絵手紙ひろば



生涯学習のマスコット
“マナビィ”

表5 【講座の進行や運営について】

講 座 名	満足	やや満足	やや不満	不満
あせび子ども邦楽教室	15	2	0	0
ニット教室	9	1	0	0
パッチワーク教室	8	4	0	0
ベビー講座	8	0	0	0
茶道教室	7	1	0	0
続・カラー魚拓に挑戦してみよう	2	0	0	0
やさしい三味線入門講座	5	0	0	0
オカリナ教室	6	4	0	0
絵手紙講座	3	0	0	0
水彩植物画講座(ホタニカルアート)	7	0	0	0
おはなしと折り紙	不定	不定	不定	不定
韓国語講座	4	1	0	0
手話サークルあせび	11	2	0	0
楽しく学ぼうパソコン教室	9	5	0	0
複音ハーモニカ基礎講座	5	0	0	0
短歌講座	4	3	0	0
合 計	103	23	0	0
割 合	81.7%	18.3%	0%	0%

進行や運営についてはほぼ問題がないと考えられる。数字上はどちらもすばらしいものとなっている。次に具体的な記述内容について考察してみたい。

表6 【今後取り組みたいことや感想から】

<全体に共通して>	<ベビー講座について>
① 継続したい	① ふれあい遊びなどがゆっくりできた
② 興味がわいた	② 子供に合わせて進行してくれた
③ 他の講座も受講したい	③ 子供が気持ちよさそうにしていた
④ 発表の機会がありびっくりした	④ 気分転換になった
⑤ 忘れないようにしたい・使いたい	⑤ ふれあいの大切さを知った
⑥ たくさんの舞台に出られた	⑥ 初めての子育てで不安があったが相談できたりして心が軽くなった
⑦ 真新しいものを考案してくれる	⑦ ママ同士の話もでき、リフレッシュした

2 アンケート結果を踏まえての考察

全体に共通して継続を表明する意見が多く見られたが、実技を伴うものについては、実力に差が生じてしまう部分があり、初心者から経験者までを同時間で行うことが困難になっていく講座が生じてきた。毎年11月“とくしま教育の日”の行事として実施しているまなびの丘フェスティバルでの発表や展示といった場に出場する機会を増やすためにも、技術的に大きな差がないような状況で練習することが一つのポイントであると考えられた。また、ベビー講座については、感

想のところにも列挙しているが、赤ちゃんだけでなく、保護者にとってもひとときの安らぎや落ち着きを与えてもらえる場になっており、保護者の方も参加を心待ちにしているように見受けられた。1歳未満の赤ちゃんに限定してしまうと次年度は継続して参加しにくい状況が生じてしまうという問題点が挙げられた。次年度への課題として解決策を講師先生とともに考えた。

3 令和5年度実施講座について

(1) 改善点

- ・オカリナ教室については水曜日を追加し、初めての方と経験のある方を分けて行う。
- ・ベビー講座については第1水曜日に1～3歳くらいまでの子供、第3水曜日に1歳くらいまでの赤ちゃんと保護者とし、前年度からの継続受講が可能になるよう工夫する。
- ・新型コロナウイルス感染症対策の継続ということもあり、オンライン講座を増やすことによって、より多くのニーズに応えられるような講座を実施することとなった。具体的には韓国語講座と折り紙教室の2講座が月1回オンライン実施となる。

(2) 令和5年度マナビィセンター主催講座（表7～9、太字が変更点）

表7 【学んで伝える体験ひろば】

講座名	日 時	講師より（案内）
楽しく学ぼう パソコン教室	毎月第2火曜 13:00～15:00	初心者対象の講座です。ワード・エクセル・プログラミング等でパソコンを楽しみましょう。
水彩植物画 (ボタニカルアート)	毎月第1・3水曜 10:00～12:00	四季折々の草花を透明水彩で描きます。サイズはハガキからA4サイズ。ボタニカルアート作家の先生方の模写を中心に描きます。
絵手紙ひろば	毎月第3水曜 13:30～15:30	初めての方は基礎から教えます。続けている方は、その人の個性を伸ばしていきます。一枚の絵でも失敗はありません。修正して完成させましょう。
オカリナ教室	毎週水曜 13:30～15:00	沢山の方々にオカリナを通して心身ともに健康で豊かな人生を過ごしてもらうことが目標です。 初めての方 毎週水曜日 経験のある方 毎週木曜日
	毎週木曜 13:30～15:00	
複音ハーモニカ 基礎講座	毎月第2・4水曜 13:00～14:30	ハーモニカ（複音）の正しい吹き方（奏法）を学び、楽しく演奏できることを目標にします。
やさしい三味線 入門講座	毎月第3金曜 10:00～11:00	ゼロから始める三味線講座は、初めて三味線を学ぶのについてつけの、やさしく分かりやすい講座です。
短歌講座	毎月第1火曜 13:30～15:00	初心者は基礎から、経験者は一歩先へ。詠う喜びを伝え、文学（詩、俳句他含む）の基礎を学びます。
茶道講座 (裏千家)	毎月第4土曜 13:30～16:30	初心者、経験者それぞれの方の状況に応じて、お茶・お菓子の召し上がり方、点前や楽しみ方など、茶道の基本と日本の伝統的な立居振舞をお教えします。
パッチワーク 教室	毎月第3金曜 13:30～15:30	ポーチ、バッグ、タペストリーなどを製作します。

ニット教室	毎月第3土曜 13:30～15:30	棒針、かぎ針で小物、ベストなどを製作します。
プリザーブドフラワーでアレンジを楽しもう	奇数月第4水曜 13:30～15:30	プリザーブドフラワーを使って、フラワーアレンジを楽しんでいただきます。
手話サークルあせび	毎月第2・4金曜 第4火曜 13:15～15:15	手話の勉強をします。
韓国語教室	毎週土曜 10:00～11:30	会話例を使って、1回に1つの文法を学習します。言葉を勉強しながら、韓国の文化についても学びます。 ※第4土曜日はオンライン配信のためお休みとなります。
続・カラー魚拓に挑戦してみよう！	毎月第3土曜 13:00～16:00	紙に色づけをして魚を写し取る技法（間接法）を習得します。講習を通じて受講者同士の交流を深め、技術の習得・向上をめざします。

表8 【親子で楽しむ体験ひろば】

講座名	日 時	講師より（案内）
ベビー講座	毎月第1水曜 10:30～11:30 1～3歳くらいまでの赤ちゃん と保護者	親子のふれあい講座です。ベビーマッサージは身体の発達の促進や、心の安定にも繋がります。オイルを使った簡単なマッサージをお伝えしていきます。マッサージ体験後は、産後の子育ての不安など一緒にお話してお悩みを解決しましょう。
	毎月第3水曜 10:30～11:30 1歳くらいまでの の赤ちゃん と保護者	☆キッズクラス 毎月第1水曜日（1～3歳くらいまでの子供と保護者） ☆ベビークラス 毎月第3水曜日（1歳くらいまでの赤ちゃん と保護者）
おはなしと折り紙	毎月第2・4土曜 13:30～15:00	おはなし（絵本の読み聞かせ）、折り紙、バルーンアートなどを親子で楽しみましょう！ ※第4土曜日はオンライン配信も行っています。
みんなで楽しむ 映画会	月1回程度 日曜日14:00～	月に1回程度、総合教育センター1階ホールを主会場として、映画会を開催します。ご家族やお友達と一緒に是非ご来場ください。

表9 【子ども体験ひろば】

講座名	日 時	講師より（案内）
あせび子ども邦楽教室	毎月第1・3土曜 13:30～15:00	箏を通して和楽器の美しい音色に触れ、心を豊かにすること、また、日本の伝統音楽に興味や関心をもち、これらに対

		する理解を深め、愛好する心を育成することを目標としています。
--	--	--------------------------------

IV 研究の成果と今後の課題

1 研究の成果

令和5年度は、前年度の総括より、マナビセンター主催講座が増加することとなった。より多くのニーズに応えうるものとなっていると考えられる。新型コロナウイルス感染症が第5類移行になったことも大きな原因の一つであると推察されるが、まなびの丘フェスティバル2023においても、主催講座の受講者が多数発表・展示（図6～16、表10～12）に参加していることからしても、活動がより活性化したのではないかと考えられる。

表10 【まなびの丘フェスティバル2023受講者発表会内容について】

あせび子ども邦楽教室	たき火、かぞえうた、さくら
複音ハーモニカ基礎講座	もみじ、赤とんぼ、ふるさと、ロンドンデリーのうた
韓国語講座	슈퍼스타（スーパースター）
オカリナ教室	めだかの学校、富士の山、大きな古時計、少年時代、阿波踊り（荒城の月バージョン）
朗読文化講座	なめとこ山の熊（宮沢賢治） （県立総合高等学校主催「県民企画講座」）
太極拳講座	24式太極拳、梅花扇（県立総合高等学校主催「県民企画講座」）
短歌講座	仕方話「長池にまつわる昔話」
手話サークルあせび	四季の歌



図6 あせび子ども邦楽教室



図7 複音ハーモニカ基礎講座



図8 オカリナ教室



図9 朗読文化講座



図10 短歌講座



図11 太極拳講座

表11 【展示について】

カラー魚拓講座
手話サークルあせび
水彩植物画講座
短歌講座
絵手紙講座



図12 水彩植物画講座



図13 カラー魚拓講座

表12 【当日体験コーナー(生涯学習支援課主催)について】

ヨーガ教室
バルーンアート
みんなで楽しむ映画会
生涯学習インストラクター (まなびいで遊ぼう)
竹細工



図14 バルーンアート



図15 生涯学習インストラクター
(まなびいで遊ぼう)



図16 竹細工

発表会だけでなく、展示コーナーや体験コーナーも賑わいを見せていた。日頃の活動を広く地域や子供たちに知ってもらえる機会になったと考える。「まなびの丘フェスティバル」も開催内容等を他の講座とどう関連させていくかなど、課題も多く抱えているが、マナビィセンター主催講座の受講者にとっては非常に意味のあるフェスティバルとなっており、継続していく価値は十分にあると考える。

2 今後の課題

令和4年度からの継続事業であるファミリー体験学習推進プロジェクトや共育たのしみ隊パワーアップ講座、さらにはおもてなし外国語会話講座も引き続き実施となり、オンライン配信分も含めて講座は減少することがない。もちろん各講座については毎年開催について議論されているが、人気の講座として定着しつつあるものや、新規に始まり、今後が期待されるものも多く、なかなか減らすことができない。ただ、オンライン講座などは気軽に参加できる反面、1回受講した後、不参加が続くといった傾向も見受けられ、今後は参加人数や内容等を精査していく必要があると考えられる。

また、他課にもその課の特性を生かした講座をお願いしており、その方との調整も考えなければならない時期に来ているように感じられる。生涯学習という言葉の範疇をそれぞれの立場で定義していかなければならない時が来ている。今後の大きな課題となるであろう。

V おわりに

はじめに述べたが、人生100年時代はもう到来している。一般的な仕事の定年は60歳であり、そこから40年以上の人生を生き続けることとなる。生きがいをそれぞれが持ち続けて生活していくことは、そうたやすいことではない。人はそれぞれにあった生き方を模索していくようになるだろう。そのときに何か指標のようなものがあれば頼りになるだろうし、比較検討することも容易になる。生涯学習と言ってしまうが、何を学習するのか、どう生きるのかが問われるのである。

生涯学習活動に対する県民のニーズは、刻一刻と変化している。マナビィセンターでは、時流にあった県民のニーズを把握し、それに応えることで学習意欲のさらなる高揚をめざし、様々な学習機会を提供する取組を積極的に展開していかなければならない。今後も一人でも多くの方に学ぶことの楽しさや充実感を味わってもらい、生きがいに満ちた人生を送るための施設として、マナビィセンターが徳島県における生涯学習活動の拠点の一つとなることができるよう、今後とも努力を続けていきたい。